

ヒラタチャタテ

分類：チャタテムシ目(嚙虫目)コナチャタテ科

学名：*Liposcelis bostrychophilus*

英名：Booklouse



■解説¹⁾

本種は、屋内に棲息する最も普通の種類で、日本各地に広く分布している。本種は、重要な室内害虫で、穀類や貯蔵加工食品、動物標本などを加害する。本種は、多湿を好み、動植物やカビを食べるが、あまりカビの繁殖のひどい場所には生息しない。

本種は、単為生殖を行い、光に対して少しでも陰になるような場所で産卵を行う。本種は不完全変態であり、幼虫・成虫ともに類似した形態である。本種の発生は1年中見られるが、夏季に多く、特に9月に多発することが多い。

■体長²⁾

卵：成虫の体長の1/3

幼虫：—

蛹：—

成虫：1mm内外

■産卵数

産卵数/生涯：最高147卵²⁾

■ライフサイクル²⁾

卵：9～13日(エビオス粉末 27℃ 70～90%R.H.)

幼虫：9～13日(エビオス粉末 27℃ 70～90%R.H.)

蛹：—

成虫：>161日

■発育零点(発育停止温度)

—

【参考文献】

- 1) 徳永雅明. 医用昆虫学(上巻)
- 2) 多田茂子. 衛生動物 vol.7. 1956, p.199